資料１

（仮称）第４次鎌倉市総合計画の施策（案）について

令和６年（2024年）12月17日
第６回鎌倉市総合計画審議会

○　（仮称）第４次鎌倉市総合計画の全体像案⇒リーディングプロジェクト案

基本理念　「平和都市宣言」と「鎌倉市民憲章」の精神

将来都市像　古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち

将来目標　生涯にわたって誰もが安心して自分らしく暮らせるまち＝共生社会

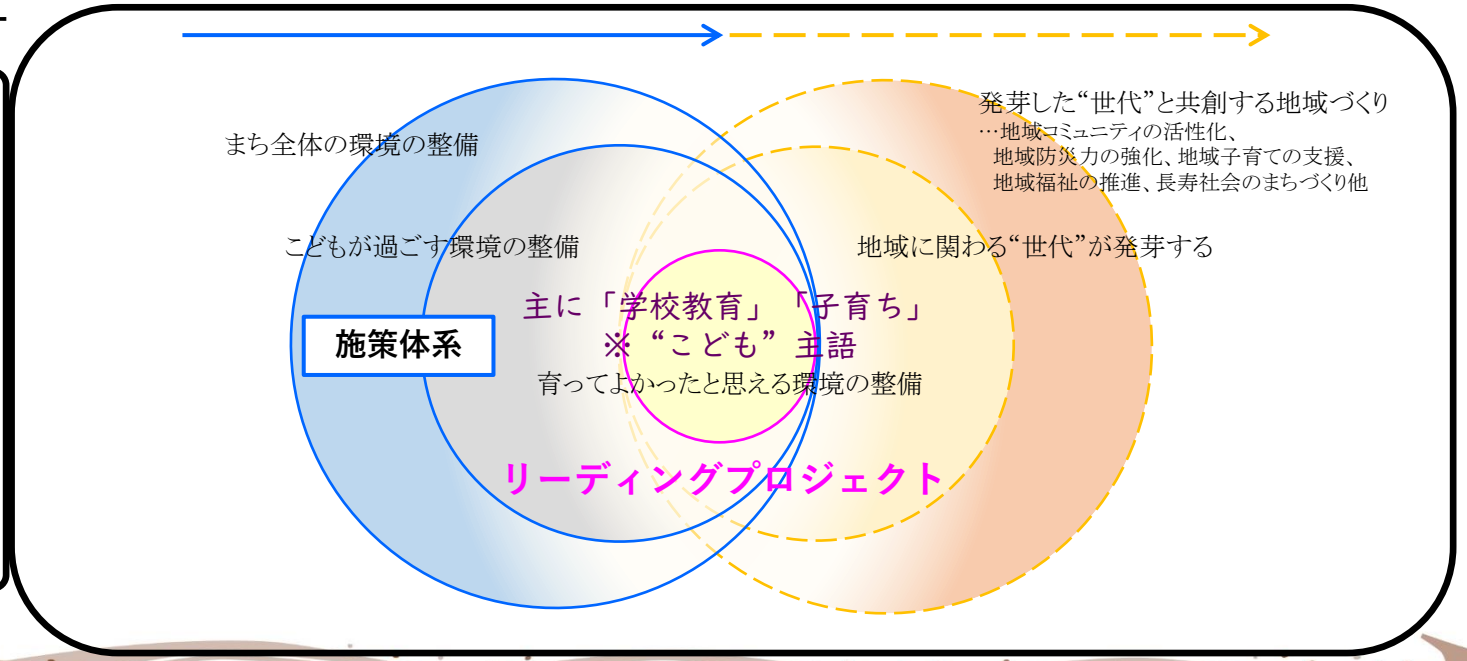
- 自然・歴史・文化を未来につなぐまち
- 多世代・多文化・多様な絆がいきるまち
- ひとの想いが尊重される豊かで安全なまち

基礎条件

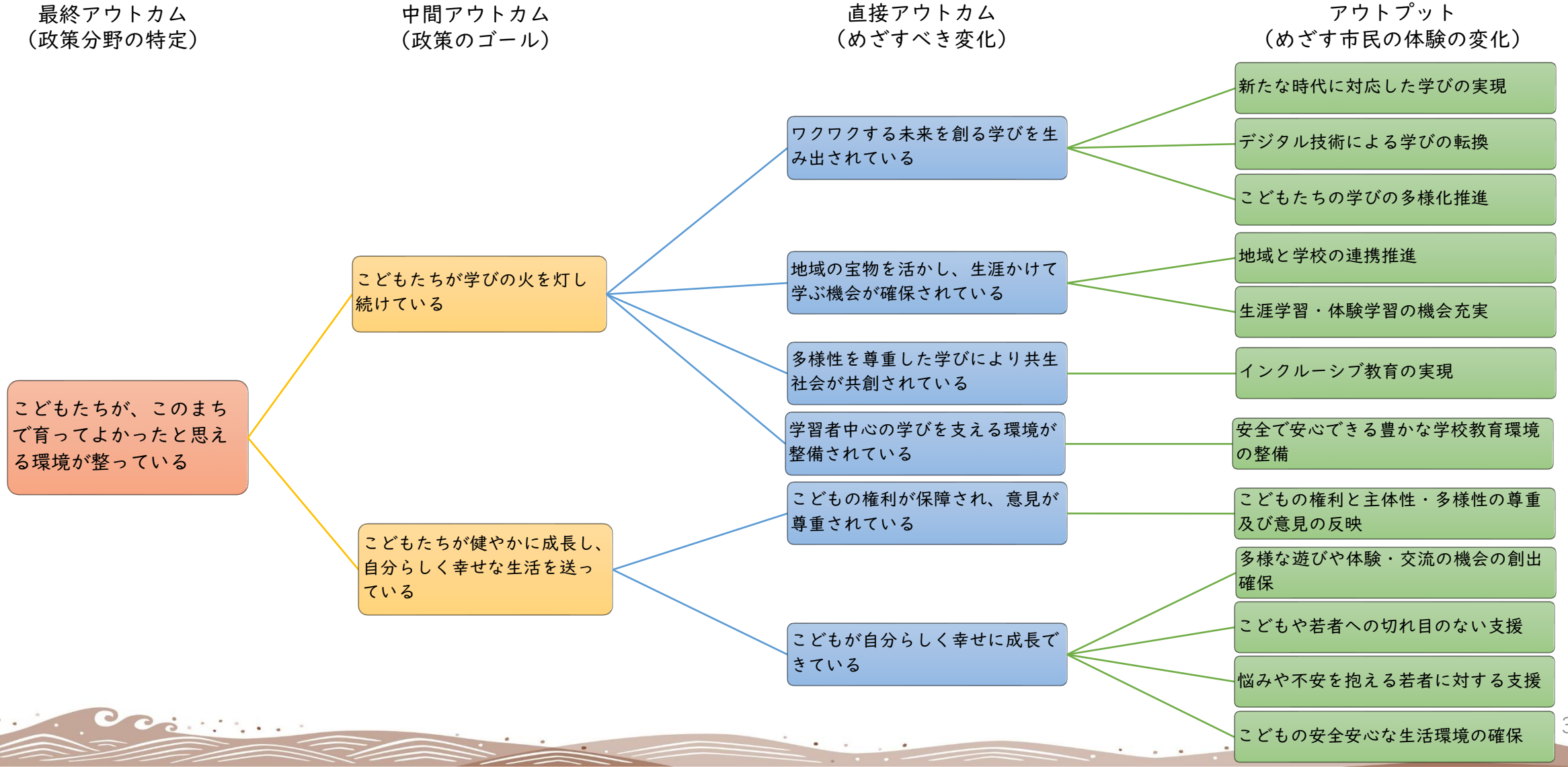
人口の将来の姿 → 土地利用の目指す姿

基本方針

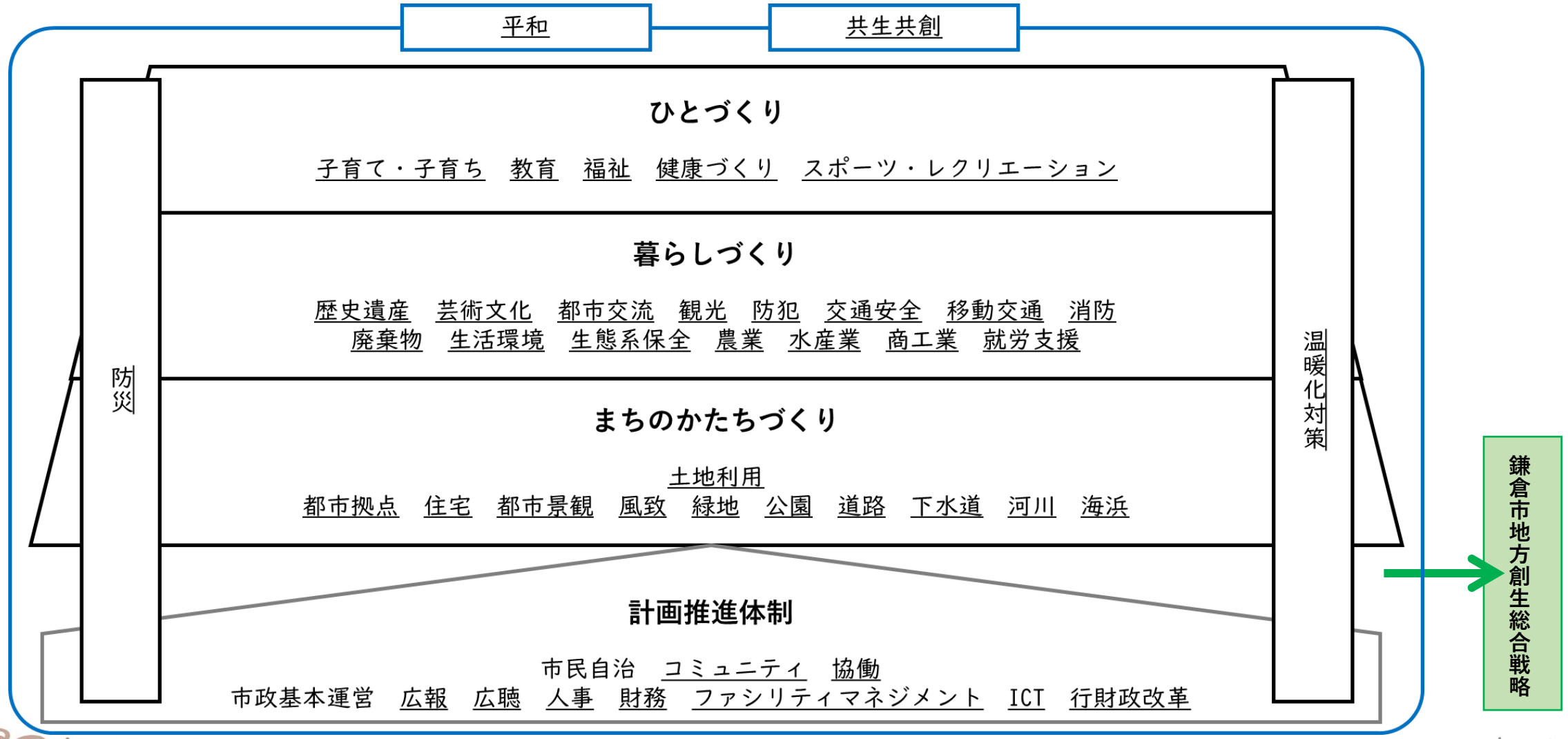
自分らしく共創できる環境づくり



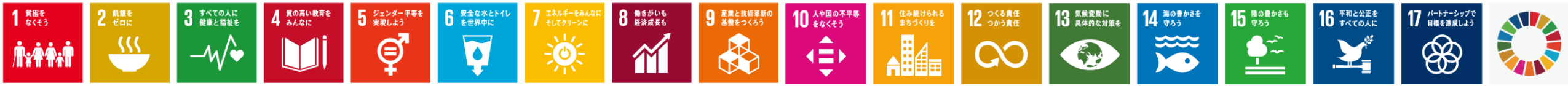
○　リーディングプロジェクトの取組内容の整理案



○　施策体系案


平和
共生共創
ひとづくり
子育て・子育ち　教育　福祉　健康づくり　スポーツ・レクリエーション
暮らしづくり
歴史遺産　芸術文化　都市交流　観光　防犯　交通安全　移動交通　消防
廃棄物　生活環境　生態系保全　農業　水産業　商工業　就労支援
まちのかたちづくり
土地利用
都市拠点　住宅　都市景観　風致　緑地　公園　道路　下水道　河川　海浜
計画推進体制
市民自治　コミュニティ　協働
市政基本運営　広報　広聴　人事　財務　ファシリティマネジメント　ICT　行財政改革
防災
温暖化対策
鎌倉市地方創生総合戦略

○　施策案とSDGs



１．各施策とSDGsのゴールとの突合

　各施策を推進することで達成に寄与できるSDGsのターゲットが属するゴールと各施策の関係を明らかにする。

⇒資料４参照

２．SDGsから見た施策の点検・立案（SDGs主流化※）

　上記で突合するゴールだけでなく、上記で突合しないゴールの視点から、市の施策の点検を行い、次の展開につなげていく。

※高木超（2024）「総合計画に見るSDGs主流化の到達点と課題－東京都内62区市町村を事例として－」『計画行政』47巻1号　29-40